

ダニ媒介性脳炎対策としてのマダニ咬着犬の抗体およびウィルス分離調査への協力依頼

高橋 徹

(北海道獣医師会 会長)

高良 弘之

(小動物臨床部会 担当理事)

2018年4月15日に行われた北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウムにおいて、ダニ媒介性脳炎の講演が行われ、その年の北海道獣医師大会において「人獣共通感染症としてのダニ媒介性疾患の医学との連携強化推進」を小動物臨床部会から提案しました。そして2年間全道的な家庭飼育犬の疫学調査を北海道大学の協力のもと行ってきました。2年間で468検体中、5検体が陽性(1.1%)でした。その地域は概ねヒトの感染地域と一致しています。

北海道大学からの要請もあり、3年目となります今年も同様の調査を行いたいと存じます。すでにマダニに咬着された犬が来院しているかと思えます。スタートが遅れたことお詫び申し上げますが、どうぞご理解の上、協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、ご心労が溜まってきているのではないかとご察し致します。皆様と共に、この状況を乗り越えていけたらと思います。どうぞご自愛のほどおねがいします。

協力依頼内容

1. マダニを採取し、病院名と検体番号を記載して冷凍保存
2. 犬から採血、血清分離(0.5ml以上)し、病院名と検体番号を記載して冷凍保存
3. ダニ媒介性脳炎疫学調査記録シートを記入
4. 検査期間 10月末日まで
5. 飼い主向け依頼文書、調査シート、北大への検査依頼書は、ダウンロード願います。

[マダニ脳炎調査シート](#)

[ダニ媒介性脳炎検査依頼書](#)

[マダニ飼い主様へ](#)

(セキュリティの関係で、Word・Excelファイルは圧縮されていますがPWはありません)

6. ある程度検体数が揃ってから検体送付をお願いします。

送付先：〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目

北海道大学大学院獣医学研究院

公衆衛生学教室

小林 進太郎 助教宛て

TEL・FAX：011-706-5213

E-mail：shin-kobayashi@vetmed.hokudai.ac.jp

※ 検体は冷凍のまま、月曜日から金曜日に届くようにお送りください。

問い合わせ先：小動物担当理事 高良 弘之

E-mail:kora@earth-pet.jp